

<令和5年度 避難所運営委員会のご紹介>

◆穴川コミュニティセンター避難所運営委員会 の取り組みをご紹介します。

令和5年5月21日（土）午前10時00分～



穴川町会集会所にて穴川町会の方々、敬愛大学の藤森氏、市の直近要員など30名が出席し、今年度の活動の方向性や準備事項等について検討が行われました。

食糧班からは炊き出し訓練の内容についての提案、広報班からは活動内容を周知するための広報誌発行の提案、施設班からはのぼり旗の制作についての提案があり、いずれの提案に対しても、出席者から多くの前向きな意見が出され、活発な議論が行われました。

以下、委員の皆様のコメントを一部ご紹介します。



- 委員会の活動を広く周知するために、定期的に広報紙を発行したい。
- 広報紙の中で、新委員の募集も行いたい。
- 訓練の様子だけでなく、今回のような会議の様子もお知らせし、委員ではない皆さんにも活動への理解を深めてもらえると良い。

- 災害時には水が非常に貴重のため、どう節約しながら調理をしたら良いか訓練で説明したい。
- 調理方法を知っている人が1人でもいれば、災害時に動くことができる。

- 避難所では避難者自らが動くことも重要。
- 昨年の訓練で、参加者に各班の場所や役割が伝わりづらかったため、班ごとの「のぼり旗」を作りたい。文字だけでなく、一目でわかるようピクトグラムを作成してみた。



委員の方より、「自助・共助」の大切さを説明して頂き、災害時のいざというときは、委員会と地域の方々との連携が重要で、みんなで避難所を運営するという意識が必要であることが確認されました。

昨年度に引き続き、防災意識の向上や啓発等に向け、稲毛区役所地域づくり支援課も、防災講演会の開催などを企画してまいります。

昨年度の稲毛区防災講座の様子は[こちら](#)

最後に、委員会の皆様で防災倉庫の中の確認を行い、「どんな備蓄品があるのか」をチェックし、山木委員長より防災倉庫の開閉方法や備蓄品の説明がありました。



🍲炊き出しお鍋

📦お水や備蓄食料